

鳥取県総合芸術文化祭

とりアートオペラ公演実行委員会（第1回）報告

参加者/西岡千秋・吉田章一・鈴木 百合子・松本厚志・小倉知子・計羽孝之・尾坂俊恵・ 欠席者/新田恵理子・松本好生	オブザーバー/中尾剛久(とりアート本部)
---	----------------------

日時 平成 28 年 10 月 10 日 (祝・月) 15:00~16:40

場所 倉吉市文化活動センター内 鳥取オペラ協会公演事務局

□とりアートオペラ公演実行委員会設立準備会の報告があり、とりアートオペラ実行委員会への参加団体が決定しました。

鳥取オペラ協会(西岡千秋・吉田章一・鈴木 百合子・松本厚志・小倉知子・計羽孝之)

鳥取ピアノ指導者協会(尾坂俊恵・新田恵理子)

アザレアのまち音楽祭企画実行委員会(松本好生) 以上9名

○司会進行は鳥取オペラ協会事務局長の吉田章一氏が担当。

1 報告事項は次のとおり。

- (1) メイン事業部会に、とりアートオペラ公演実行委員会参加団体の報告をし、了解されました。なお、今後必要に準じて委員の拡大を図ります。
- (2) とりアートオペラ公演実行委員会の立ち上げは、2016年10月10日に行い、運営体制・役員選出・実行委員会会則・予算案・出演者ギャラ等について検討する。
- (3) 企画の基本的事項について、メイン事業部会の判断を仰ぎ、次の様に指示されました。
 - ① 予算概案の策定額を見ていただき、その結果プロジェクターマッピングの使用については、経費が掛かりすぎるので、全面活用はしない事になりました。
 - ② 児童生徒に対する謝金(ギャラ)は、とりアートの趣旨に反するため、記念品程度に留める。
 - ③ とりアートオペラ「ヘンゼルとグレーテル」制作のフローチャートが了解されました。

2 協議事項については、次の通り決定しました。

- (1) 運営体制については、先回の「魔笛」公演の仕組みを踏襲することになりました。役員選出については、下記の通り。

実行委員長 「西岡千秋」(舞台制作プロデューサー)制作部所属

副委員長 「尾坂俊恵」(企画委員長)制作部所属

委員 「吉田章一」(公演事務局長)広報部所属

委員 「鈴木百百子」(会計)広報部所属

委員 「計羽孝之」(総合プロデューサー・芸術監督)制作部所属

委員 「小倉知子」(マネジメント)制作部所属

委員 「新田恵理子」(ピアノ・マネジメント)技術部会

委員 「松本厚志」制作部所属

委員 「松本好生」(監査)監査担当

実行委員会会則・会計会則・組織及び処務に関する規則については、先回の会則を踏襲することになりました。

- (2) 企画内容については、
 - ・2018.12.23のゲネプロを子供対象(親子)として一般公開とする。
 - ・三幕の子供たちの合唱16程度以内とする。その中にソリストを四人程度入れる。児童合唱は、合唱団みらい・明倫小学校及び成徳小学校合唱団に呼びかけ、オー

ディクションにより選抜する。

- ・二幕妖精の踊りの子供たちは、倉吉市内のバレエ教室に協力依頼し、オーディションによって選抜する。募集人数は未定。
- ・オーディションはソリスト及びスタンドインを选考し、アンダー兼出張公演(事前広報としての宅配公演)を担当する
- ・オーケストラについては、プロ・アマ混成では音楽づくりが難しく、練習会の経費等が大きく膨らむことが予想されるため、既存のオーケストラに依頼するのがベストである。しかし、とりアートのコンセプトから地元オーケストラの関与が望ましいとの「メイン事業部会」からの要請があり、今後さらに検討する。
- ・公演原語は日本語(字幕は付ける)
- ・主なスタッフについては、アートディレクター・総合プロデューサーに「計羽孝之」。指揮者については、オーケストラ決定に準ずるため、後日決定。ボーカル練習会のための副指揮者については、後日決定する。演出は中村敬一に決定。演出助手に西岡千秋。美術に増田寿子。照明に榎木実・バレエ振付は未定。音響・映像に小野隆浩。制作プロデューサーに西岡千秋。練習会マネジメントに小倉知子。練習会ピアノ・マネジメントに新田恵理子。合唱は未定。音楽スタッフは未定。協力団体については、倉吉親子劇場・倉吉つぼみ会バレエ教室・合唱団みらい・とりアート中部実行委員会・その他に依頼する。
- ・実施スケジュールは次の通り。

公演の日本語台本の決定⇒平成 28 年度内に終了(シナリオ検討)。演出プランの決定⇒平成 28 年度内に終了。公演企画詳細完成⇒平成 28 年度内に終了。出演者オーディションは、平成 29 年 4 月以降に設定予定。キャスト練習会は、オーディション以降。

平成 29 年 6 月、圧縮版「ヘングレ」上演(倉吉交流プラザ)オペラ宅配便の設定

平成 30 年 6 月、圧縮版「ヘングレ」上演(倉吉交流プラザ)想定

平成 30 年 6 月より立稽古(詳細は未定)毎月土曜日 or 日曜日の 4 回

平成 30 年 8 月には、総合公開リハーサル(記者発表)

平成 30 年 9 月より土日で設定

舞台設定⇒平成 30 年 12 月 21 日(金)仕込み作業

平成 30 年 12 月 22 日(土) 場当たりとオケ合わせ

平成 30 年 12 月 23 日(日)公開ゲネプロ

平成 30 年 12 月 24 日(月祝)本公演

- ・運営スケジュールは、提案通り了解されました。

- (3) 予算については、一部訂正され了解されましたが、現段階では上限 25,000,000 円未満での概算。削減は、ディクション経費・舞台マッピング経費。追加予算の計上は、ダンス指導謝金と子供たちの交通費。

舞台スタッフ・出演者のギャラの想定を提案しましたが、演出家の意見を聞いて、決定することになりました。

オーケストラ経費については、概要が決定した段階で、5,000,000 円程度の範囲で策定することになりました。

4 その他

次回のとりアートオペラ公演実行委員会は、スタッフ打ち合わせ(近日中)が終わった段階で開催する事になりました。

以上、報告いたします。(文責/総合プロデューサー計羽孝之)